

テーブルオフィシャルズマニュアル

茨城県U12カテゴリー
2021.10.22（改訂版）

●ショットクロックオペレーター

- 各クォーターの始まりはショットクロックは「24」と表示しましょう。
- 次のとき、24秒計を「スタート」と声を出しながら動かします。
 - ジャンプボール後、コート上のプレーヤーがコントロールしたとき。
 - リングにふれたボールを、コート上のプレーヤーがコントロールしたとき。
★コントロールは、ボールをつかんだり、キャッチしたり、ドリブルする等のことを言います。
 - スローインのとき、コート上のプレーヤーにふれたとき。
★ディフェンス、オフェンスのプレーヤーは区別されません。
- 次のとき、ショットクロックは止めますがリセットはしません。（残りの秒数は表示する）

次のことが起こった結果、それまでボールをコントロールしていたチームに引き続きスローインのボールが与えられるときは24秒計を止めますがリセットしません。（24秒計を止めたとき24秒に戻さず、残りの秒数からスタートします）

 - ボールがアウトオブバウンズになったとき。
★アウトオブバウンズとはコートのライン、外側の床にボールが触れたときのバイオレーションのことを言います。
 - ジャンプボールシチュエーションになったとき。
 - コントロールしているチームのプレーヤーが怪我で審判が止めたとき。
 - コントロールしているチームにテクニカルファウルが宣せられたとき。
- 次のとき、ショットクロックを止めて24秒にリセットします。（秒数は表示はしない）
 - ボールがバスケットに入ったとき。
 - ボールがバスケットのリングにふれ、相手チームがコントロールしたとき。
 - ファウル、ヴァイオレーションのとき。
★アウトオブバウンズでボールをコントロールしていたチームに引き続きスローインが与えられた時をのぞく
 - ジャンプボールシチュエーションで、それまでコントロールしていないチームに与えられるとき。
 - フリースローを行うとき。
- 次のときは、ショットクロックを14秒にリセットします。
 - ボールがリングにふれたあと、それまでのオフェンスがリバウンドを取ったとき。※フリースローの時も
 - リバウンドでディフェンスのタップでアウトオブバウンズになり、オフェンスがスローインするとき。
 - リバウンドでオルタネイティング・ポゼッション・ルールによりポゼッション・アローの向きでオフェンスがスローインするとき。

テーブルオフィシャルズマニュアル

茨城県U12カテゴリー
2021.10.22（改訂版）

●ショットクロックオペレーター

6. 注意点

- ①もっているボールをたたき落されたり、パスしたボールが相手チームにふれたりしても、相手チームのプレーヤーがボールをコントロールするまでは、チームとしてのボールのコントロールは終わりません。（24秒計は止めません。）
- ②ボールがシューターの手からはなれてリングにふれなかったときは、バックボードにふれても24秒は終わりません。
- ③リバウンド、ルーズボールの争い中は計り直すこと、計り始めることはありません。
- ④残り時間が14秒より少ないときは、新たに24秒は計らないので24秒計の電源をOFFにします。

7. その他

- ①素早く操作できるよう、指は常にスタート/ストップ/リセットボタンの近くに置きましょう。
 - ②24秒計を動かすときは「スタート」、止めるときは「ストップ」と表示板を見て、声を出しながら操作しましょう。
 - ③審判が笛を鳴らしたときは、まずはストップボタンを押して止めましょう。（習慣化する）
- ストップした後は、審判のシグナル(ジェスチャー) →
- を確認して、リセットか継続かを判断しましょう。

